

釧路支庁みどりの環境づくり地域会議でのPR

3月18日(火)、地域におけるみどりの環境づくりの推進について話し合う、釧路支庁みどりの環境づくり地域会議が開かれました。

会議には国、道、市町村及び12市民団体の関係者が出席し、釧路支庁から20年度に取り組む北海道の施策等の説明があり、当センターからは自然再生事業と森林環境教育の取組についてPRしました。

所長から「雷別地区自然再生事業」の概要を説明し、自然再生事業は地域の皆さんと一緒にあった取組であること、自然再生事業箇所を森林環境教育のフィールドとして活用するプログラムを検討していること等について説明しました。

また、各団体の活動紹介の時間には、19年度に当センターが取り組んだ森林環境教育と自然再生について発表しました。初めに、「総合学習における森林環境教育の進め方」として、小学校と当センターが協力して「地球温暖化と森林」のテーマで授業を実施したこと、釧路支庁と連携して学校環境緑化事業のモデル校として選ばれた小学校で木工教室等を実施したこと等を説明しました。次に、自然再生事業の取組として市民参加を進める一つの方策として立ち上げた「雷別ドングリ倶楽部」の活動内容等を説明しました。

今回の会議では、構成団体の活動紹介を行う時間を設けていただいたことから、ふれあいセンターで取り組んでいる具体的な内容を知ってもらう良い機会となりました。



齋藤指導官が森林環境教育の取組を紹介